

Japanese A: literature – Higher level – Paper 2
Japonais A : littérature – Niveau supérieur – Épreuve 2
Japonés A: literatura – Nivel superior – Prueba 2

Thursday 11 May 2017 (morning)

Jeudi 11 mai 2017 (matin)

Jueves 11 de mayo de 2017 (mañana)

2 hours / 2 heures / 2 horas

Instructions to candidates

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the part 3 works you have studied and compare and contrast these works in response to the question. Answers which are not based on a discussion of at least two part 3 works will not score high marks.
- You are not permitted to bring copies of the works you have studied into the examination room.
- The maximum mark for this examination paper is **[25 marks]**.

Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Traitez un seul sujet de composition. En basant votre réponse sur au moins deux des œuvres de la troisième partie que vous avez étudiées, vous devez comparer et opposer ces œuvres dans le cadre du sujet. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la troisième partie n'obtiendront pas une note élevée.
- Vous n'êtes pas autorisé(e) à apporter des exemplaires des œuvres que vous avez étudiées dans la salle d'examen.
- Le nombre maximum de points pour cette épreuve d'examen est de **[25 points]**.

Instrucciones para los alumnos

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Conteste una sola pregunta de redacción. Base su respuesta en al menos dos de las obras estudiadas de la parte 3, comparándolas y contrastándolas en relación con la pregunta. Las respuestas que no se basen en al menos dos obras de la parte 3 no recibirán una puntuación alta.
- No está permitido traer copias de las obras estudiadas a la sala de examen.
- La puntuación máxima para esta prueba de examen es **[25 puntos]**.

次の問題から**1つ**を選んで、小論文を書きなさい。その際、「パート3：ジャンル別学習」で学んだ、**少なくとも2作品**に言及しなさい。パート3の2作品を使用していない場合は減点となります。なお、小論文を書くにあたっては、必ず作品の類似点と相違点を**比較・対比**すること。

物語・小説

1. 少なくとも**2つ**の作品の物語の展開を比較・対比しながら、それがどのように読者を物語の中に引き込んでいくのかを論じなさい。
2. 小説家は、道徳に関する要素を作品の中に混ぜ込むことがあります。これがどのように行われ、また、どのような効果をあげているか、少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら論じなさい。
3. 小説の中では、脇役の登場人物が物語の行方を左右することがあります。少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、脇役の登場人物が、他の登場人物との関係性を通じてどのように物語の中で決定的な役割を果たすのか、論じなさい。

随筆・評論

4. 少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、論理的な文章や根拠に基づく議論がどのように用いられているかを論じなさい。
5. 随筆・評論の作者は、作品の中で身近なエピソードを用いることがあります。このような手法がどのように用いられ、またどのような効果をあげているか、少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら論じなさい。
6. 少なくとも**2つ**の作品を比較・対比しながら、作者が自身の論点を明確にするために状況や人物などに関する「誇張」をどのように用い、またそれがどのような効果をあげているかを論じなさい。

詩歌

7. 詩人が作品の中で世界を描くために使う主要な方法のひとつに、五感に根ざした表現やモチーフの使用があります。詩のこのような側面について、少なくとも2人の詩人による作品を比較・対比しながら論じなさい。
8. 「詩は、人間の内面に対する私たちの理解をより深めるものである」。少なくとも2人の詩人による作品を比較・対比しながら、これがどのように達成されているか、また、このような効果を生み出すためにどのような手法や特徴が用いられているかを論じなさい。
9. 詩人は、作品の中で自然と人間の調和を描くこともあれば、その逆を描くこともあります。少なくとも2人の詩人による作品を比較・対比しながら、人間と自然の関係がどのような手法によって描かれているかを論じなさい。

戯曲

10. 少なくとも2つの作品を比較・対比しながら、戯曲家が劇中において喜劇的な要素をどのように用い、またそれがどのような効果をあげているかを論じなさい。
 11. 「戯曲家は日常の経験が劇の題材へと変えてしまう」。少なくとも2つの作品を比較・対比しながら、日常的な経験がどのように演劇へと変容しているかを論じなさい。
 12. 戯曲の中には、構成が緻密に練られたものもあれば、そうでないものもあります。少なくとも2つの作品を比較・対比しながら、構成における戯曲家の選択がどのような効果をあげているかを論じなさい。
-